

子ども議員感想文

私は、子ども議会を通じて、市議会の仕組み、進め方、議場での決まりを知りました。

子ども議会開会のベルが鳴ると、議場は緊張した雰囲気になりました。

質問する順番になると、きちんと内容が伝わるか、うまく質問できるか心配で、とても緊張しました。私の質問に対し、市長さんは、一つひとつ丁寧に、私でも理解できるような答弁をしてくださいました。広い公園を建設する計画はないと聞いて、残念に思いました。しかし、今ある公園を改善することで、税金も大事に使われているということが分かり、うれしく思いました。

市議会は、この久喜市をさらに発展させるために、必要だと思います。より多くの市民が、もっと市議会に関心をもてば、久喜市は、さらによい市になると思いました。

子ども議会に参加できた事は、私にとって貴重な経験でした。子ども議会で学んだことを、学校生活にも活かしたいと思います。

子ども議会に参加させていただいた事、そして副議長を務めさせていただいた事は、大変貴重な経験で思い出深いものとなりました。

市長やたくさんの方々の市の執行部の方々に質問するのは、足が震えるほどでした。私は「久喜市の環境について」質問しましたが、環境のために、市が多くの予算をかけている事を知り、驚きました。そして、自分でも環境のためにできる事をしようと思いました。

また、副議長として議会を進行した時は、プレッシャーで押しつぶされそうになりましたが、立候補したのだから最後までしっかりやらなくてはと自分に言い聞かせて、頑張りました。無事終わった時は、ほっとしました。

今回の経験をとおして、久喜市をよりよくするために、市議会がどんなに重要な役割を果たしているかが分かりました。また、他の子ども議員の皆さんの質問は、久喜市について様々な事を考えるよい機会になりました。

このような素晴らしい経験ができたのは、たくさんの方々のおかげです。今

回の経験で得たものを無駄にすることなく、ずっと大切にしていきます。

清久小学校 6年 基 佳連

子ども議員に選ばれた時、私の中には二つの気持ちが浮かびました。一つ目は、うれしい気持ちです。学校の代表となって議会へ参加できることに、やりがいを感じました。二つ目は、不安な気持ちです。私は人前で話すことが苦手なので、うまくできるか心配になってしまいました。けれど、友だちから「すごい」、「がんばって」と声をかけられ、私は勇気をもらいました。そして、不安に負けないでがんばろうと思いました。

8月22日、朝から気持ちが落ち着きませんでした。本番の時間が近づき、自分の番がせまってくると、さらに緊張してきました。演壇に上がった時には、「ドキドキ、ドキドキ」と心臓の音がとても速く聞こえました。けれど、友だちの応援を思い出してゆっくりと話しました。私の気持ちがしっかり伝わるように。終わった後には、先生もほめてくれてうれしかったです。

私の考えについて柿沼教育長さんが真剣に答えてくださいました。丁寧に質問に答えてくださる姿を見て、私は「自分の考えを話してよかったな」と感じました。改めて、自分の意見をもつことは大切だと思いました。これからは学校でも自分の意見をしっかり言いたいと思います。とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

青葉小学校 6年 諸喜田 瑞貴

僕は子ども議員として、生まれて初めて大きな議場で一人で市長さんたちに質問しました。僕の順番は後半の部の最初だったこともあり、休憩中にとても緊張してしまいました。しかし、引率の先生に励ましの言葉をいただいて、少し自信がついたことで、登壇したときには落ち着いてしっかり顔を上げて発言することができました。質問後の答弁もしっかり聞くことができ、とても貴重な経験をすることができました。

議会の中で様々な質問がありました。久喜市ではボランティアや地域の人が見回りをして防犯に協力していることや、少子化を防ぐために保育園や保育の

充実に力を入れていることなど、なかなか普段知ることのできないお話を聞き、大変勉強になりました。学校にエアコンを設置する計画があることも知り、とても嬉しいです。

今回の議会参加をとおしてますます久喜市が好きになりました。これからも久喜市のことをもっとよく知り、生活していきたいと思います。

久喜東小学校 6年 増渕 翔

ぼくは、子ども議会で、なかなかできない貴重な体験をさせていただきました。たくさんの方の前で自分の意見を言うのは、とてもきんちょうしました。市議員の人たちは、こういう仕事をしているのだと、実感することができました。

ぼくは、「安全な町づくり」について、歩道を拡張することや、自転車専用道路を設置することができないかを質問しました。それに対して、市長さんはとてもいねいに回答してくださいました。歩道を拡張するのは、家が建ち並ぶ場所では難しい事、自転車の利用が多く広い道路には自転車専用道路をつくっているという事が分かりました。ぼくは、この話を聞いてなるほどなと思いました。

ぼくは、この子ども議会で、たくさんの方の事を学びました。ここで得た体験を、学校生活や将来にいかしていきたいです。

菖蒲小学校 6年 江森 亮輔

僕は、はじめ、この子ども議会がどのようなことをするものなのかよく分かっていませんでした。だから、先生から本物の議員さんのように質問するというのを聞き、とてもびっくりしました。そのようなすごい議会でどのような質問をすればいいか一生懸命考えました。僕は、日頃から気になっていたごみの分別について質問することにしました。

議会の当日になり、僕は今までにない緊張をしました。そして、本番が始まりました。僕は二番目なので、一番の方の発表を、目を凝らして見ていました。自分の番になり、できるかぎりの力をふりしぼって質問しました。その後、久

喜市長さんから質問に対する答えをくわしくしていただきました。

今回の経験は、最初で最後かもしれないというくらい貴重なものでした。議場に入ることや久喜市長さんに答えてもらうことはもうないと思うので、この体験を大切にしていきたいです。

三箇小学校 6年 青木 美幸

私は、先生から「子ども議会に参加しませんか。」と聞かれたとき、とても驚きました。私にできるだろうかと不安にも思いました。けれども、子ども議会が終わった今、出席できてとてもよかったと思います。大勢の人の前で発表し、大きな達成感を得ることができたからです。私は、前から、人前で話したり、発表したりすることが苦手でした。しかし、学校の代表なので、それにふさわしい態度で参加しようと決心しました。

7月22日のリハーサルは、とても緊張しました。けれども、本番は緊張せず堂々と発言できたのでほっとしました。先生にもほめてもらい、本当に子ども議会に参加できてよかったと思いました。苦手なことが克服でき、とてもよい経験になりました。

また、市長さんや教育長さんが、私たちの質問にていねいに分かりやすく答えてくださったことも心に残りました。久喜市の政策が、みなさんの熱心な話し合いで進められていることがよく分かりました。

菖蒲東小学校 6年 スワンピエソン

ぼくは、子ども議会が楽しみでした。なぜかというと、学校をよくするために考えた質問が、本当の市議会議場でできるからです。議会の日が来るまで、すらすら読めるように、何度も練習しました。当日、前半は間ちがいをしていないかときん張りました。自分の番はまだかと、ドキドキしながら待ちました。他の子が読むのを聞いていたら少ときん張りがとけてきました。

そして後半、いよいよ自分の番が来ました。あがってしまい、一度間違っただけで、スムーズに読むことができました。練習したかいがあったなと思いました。ぼくの質問には教育長さんが答えてくださいました。校長先生と相談し

ながらどうするか決めるそうです。

議会が終わってから市長さんたちと一緒に写真がとれてうれしかったです。最後に子ども議長の小山さんも言っていましたが、ぼくも、一生に一度しかできない体験をさせてもらいました。ありがとうございました。

栗橋南小学校 6年 笈沼 美音

予鈴がなり、議場に入場した時の、ピンと張りつめた空気。校外学習で見学した国会議事堂のようなお部屋。まるで、本物の議員になったような気分。とても緊張しました。

私は、自校給食についての質問をさせていただきました。私が通っている栗橋南小学校では2年前までは自校給食でした。校内にいる調理員さんや栄養士さんの存在をとおして感じられたぬくもりや感謝の気持ち、今でも忘れられません。今後はすべての学校で自校給食を取り入れてほしいという私たちの意見に耳を傾けていただけてうれしかったです。

今回の経験をとおして、市政に関心をもつことができ、私たちの久喜市をよりよくするためには、大人まかせではなく、「今の自分にできることは何か？」を常に考えて実行していくことが大切だと感じました。

市長さんや教育長さんは、子どものころ生徒会長だったというお話を聞きました。これから私も、学校行事や地域の行事に積極的に参加して、郷土愛を育んでいきたいと思いました。

鷲宮小学校 6年 飯島 康生

ぼくが、7月22日の説明会に参加して、一番最初に感じたことは、不安ときん張です。これから議場に行って、どの場所で一礼するのか、どのような動きをするのか、まったくわからなかったからです。でも説明を聞いて、よくわかったので、不安はなくなりました。

家では、おじぎの練習をしたり、通告書を読んだり、たくさん練習をしました。当日議場に入ると、傍聴席には保護者の方や先生方がたくさんいて前の席には市長さんや教育長さんがいたので、いっそうきん張しました。資料を読ん

だり、前の人を見てきちんと覚えたりしたはずでしたが、名前を呼ばれて、前へ行くとき緊張で頭が真っ白になってしまいました。それに通告書を読んでいるときは、何度もつかえてしまいました。何とか無事に終わって、緊張が少しなくなりました。最後には市長さんとあく手もできたし、4人で記念さつえいもできたのでとてもうれしかったです。

子ども議会という貴重な体験をさせてもらったことに感謝します。ぼくは将来、市役所に入りたいです。そして、久喜市の役にたちたいです。

上内小学校 6年 和田 桃音

この夏、子ども議会に参加しました。初めて議場に入ったとき、とても大きくてびっくりしました。机には私の名前の札があって、ここに本物の議員さんが座ると思うと感激で、緊張していたのも忘れてしまいました。でも私の番に近づくと、心臓がバクバクいっているのがわかりました。

私は不審者対応について質問しました。市長の答えの中で、子どもレディース110番があることなどを教えてもらいました。質問のとき、足がふるえて、声もふるえているのではないかと思いながら読んでいたら、最後のことばをひとつ忘れてしまいました。けれども先生やお母さんに「上手だったよ」「がんばったね」と言われてうれしくなりました。

最初は不安でしたが、子ども議会に参加してよかったです。この経験をいかし、学校での発表もはきはきと発言できるようにしたいと思います。

久喜中学校 3年 小山 玲泉

今回、私は議員と、議長としての立場で、子ども議会に参加しました。私が質問した、「久喜市の子育て環境について」には、久喜市長さんから直接お答えをいただきました。私が大人になった時の子育てが心配で質問したので、保育園の定員数増加や、病児保育などを取り入れるというお話を聞いて安心しました。こうやって市民の意見が届いて、久喜市の街づくりが進んでいるのだと実感しました。

他の議員の質問にも「確かにそうだな」と納得しながら聞いていました。意

見の交流もでき、よい刺激となりました。

私は子ども議会に参加して、将来自分が選挙権をもつことを考え、久喜市のよりよい街づくりのために自分の意見をしっかり持てる大人になりたいと思いました。市議会議場の緊張感、思い出すだけですごく貴重な体験をさせていただいたのだと改めて感じています。このような機会を用意してくださった皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。

久喜東中学校 3年 飯島 千尋

私は、今回初めて子ども議会に参加して市政や議会に関心をもつことができました。

今まで、久喜市を支えてくださっている議会の皆さんが、どのような所で、どのような仕事をしていらっしゃるのか疑問に思っていました。しかし、今回自分自身が議員になって議場に立ち、自分の意見を発表することにより、議員さんの仕事の一部を知ることができました。実際議場に立ち、自分の意見を発表する時は、議場の雰囲気や自分が上手に発表できるかなどの不安や緊張でいっぱいでしたが、しっかり自分の考えを皆さんに伝えることができました。回答して頂いた市長さんは、とても丁寧に回答してくださり、よく理解することができました。また、他の子ども議員さんの発表からも、久喜市をよりよくしていきたいという思いがとてもよく伝わりました。リハーサルから本番までの準備などをして頂いた、たくさんの方のおかげでよい体験をすることができました。この経験を機に、学校の皆や家族に、議員の皆様のことや議会での仕事を伝えていきたいと思えます。

菖蒲中学校 3年 堀部 碧生

僕は、今回の子ども議会でもとても貴重な体験をさせていただき、多くのことを学ぶことができました。なかなか入ることのできない議場に入れていただき、実際に議席に座り、議会に参加させていただきました。そこでは、市議会議員の方々を身近に感じ、久喜市をよくしようという強い気持ちがよく伝わりました。僕自身も子ども議会をきっかけに今できることから積極的に久喜市を盛り

上げていきたいと思いました。また、それぞれの学校の代表である小・中学生の子ども議員の皆さんが質問している姿や、僕たちの質問に対して前向きな答弁をしている市長さんや教育長さんの姿からは、久喜市に対する強い気持ちがよく伝わりました。僕はそのことを僕から学校みんなに伝え、地域の方々の協力も得て、菖蒲中学校が中心となって久喜市を盛り上げていきたいです。今回の貴重な体験を今後の自分に生かしていきたいです。子ども議会を準備してくださった皆様に感謝します。

栗橋東中学校 3年 小野寺 崇

今回、久喜市子ども議会に子ども議員の一人として参加し、議場に入ることや議員として議会に参加したことなど、何から何まで初めて体験することばかりでとても緊張しました。議会当日はしっかりと質問を発表することができてよかったです。ぼくたちの質問に対して、市長さん、教育長さんに一つ一つ丁寧に答弁をしていただき、とてもわかりやすかったです。

今回の子ども議会において議論し合った内容を踏まえ、久喜市について改めて考えていきたいです。そして、ぼくたちにこのような場を与えて下さった久喜市長さんをはじめ、多くの方々に感謝の気持ちを伝えたいです。ぼくにとってこの子ども議会は大変貴重な経験となりました。ぼくの将来の夢は学校の先生になることです。もしその夢がかなったら、教師という立場から、久喜市の発展のために少しでも力を注ごうと思います。これからの久喜市がどうなっていくのか楽しみです。

鷲宮中学校 2年 伊藤 紅杏

私は、今回子ども議会に参加をし、当たり前のように生活し、学校に通っている私たちの生活に、色々な人が関わり、支えてくれていることを知りました。

私が実際に議員として「市民の生活をよりよくするための手立て」について質問した際には、学校の耐震化や、駅の改修工事など、沢山の施策が考えられていることを知りました。普段、何気なく生活していることも、様々な施策を協議していく中でうまれたものであると感じ、私たちの生活は色々な人の支えが

あって成り立っていることが分かりました。

私は、生徒会の役員として、学校生活をよりよくするために、何が必要で、何を考えて行動していくかが、今後の私たちの生活にも大きく繋がることだと思いました。この経験を将来につなげていきたいと思います。

鷲宮西中学校 3年 島田 愛実

今回の子ども議会への参加は、とても貴重な体験になりました。普段入ることのない議場で行うことができ、とても嬉しく思いました。

準備の段階で意見書を作るにあたって久喜市について調べることで、改めて久喜市のよさを知ることができました。普段の暮らしの中で気づけなかったところに目を向けることで「久喜市はこんな街なのだ」と新たな発見もありました。

本番では、自分たちの意見に対して真剣に答えてくださり、嬉しかったです。自分たちの暮らす街が都市計画マスタープランによって、近い将来、活気であふれた新しい久喜市に生まれ変わると思うと、とても楽しみです。本物の議場、また市議会の方々、教育委員会の方々の前ということで少し緊張もしましたが、それもまたよい経験だったと思います。そして他の学校の意見を聞き、自分自身の考え方も変わり、考えを広げ、理解を深められました。

今回の経験を生かし、暮らしやすい久喜市のために自分に何ができるかを考え、行動できたらと思います。

栗橋西中学校 3年 落合 ひまわり

今回の「子ども議会」に参加して久喜市について今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。私たち子ども議員の質問に対しての市長さんや教育長さんの答弁はとてもわかりやすく、色々と久喜市の課題について理解できました。

私が質問した「圏央道の開発」においても、詳細について丁寧に答弁していただきました。様々な地域とのアクセスが可能になり、とても便利になるとともに久喜市が活性化していくということや、近隣住民を悩ませる騒音対策など

もしっかりされていることなど、圏央道についてとてもよくわかりました。

また、議会閉会後の会見では、市長さん・教育長さん・議長さんと撮影をしていただき、とてもよい記念になりました。祖父や祖母もとても驚いて喜んでくれました。

今回の「子ども議会」に参加させていただいた経験は、学校生活をはじめこれからの生活の大きな糧になると思います。そしてこの「子ども議会」をきっかけに久喜市についても色々と興味をもち、市民の一人として何か久喜市のためにできることをやっていきたいと思いました。久喜市役所シティプロモーション課の皆様をはじめ多くの皆様のおかげでとても貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。